

指定管理施設の管理運営評価票（評価対象年度：令和6年度）

施設所管部署	生きがい・交流部 文化振興課
評価対象期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日
評価対象年度指定管理料	189,662,000円

1. 施設の概要等

施設の概要	名称	ディスカバリーパーク焼津 天文科学館
	所在地	焼津市田尻2968番地1
	設置目的	科学教育及び文化の振興を図ることを目的とする
	設備の概要	(施設面積) 2,828.23㎡ (施設内容) 天文台、プラネリウム、展示・体験室、展望スペース

2. 指定管理者の概要等

指定管理者	名称	公益財団法人 焼津市振興公社 代表者 理事長 吉永律子
	所在地	焼津市三ヶ名1550番地
指定管理業務の内容		<input type="checkbox"/> 天文科学館の事業の実施に関する業務 <input type="checkbox"/> 使用許可に関する業務 <input type="checkbox"/> 観覧料の収受に関する業務 <input type="checkbox"/> 施設及び附属設備の維持及び管理に関する業務 <input type="checkbox"/> 自主事業 <input type="checkbox"/> その他
指定期間		令和3年4月1日～令和8年3月31日

3. 指定管理者業務運営項目評価

評価項目	指定管理者		市	
	自己評価	評価の理由	評価	評価の理由
1. 施設体制に関する評価	B	協定書等に準拠した実施体制を整えており、利用者からの料金徴収、管理記録、緊急時対応、法令遵守などの各項目について遅延・問題なく遂行している。 消防訓練を年2回、地震・津波避難訓練を年1回実施し、消防訓練は昨年度に引き続き、警報を実際に作動させてより実践に近い形で実施した。その際に防災監視盤や非常用放送設備の使用方法について、	B	外部コンサルタントや社会保険労務士等の専門家から適切な指導を受けながら協定書に準じた体制を整えており、連絡調整や緊急対応についても適正に行われている。 火災報知器等を実際に作動させる実践的な消防訓練は、緊急時の迅速な対応の実現に繋がる。今後も職員の防災意識の向上に資する訓練をお願いしたい。 学芸員や教員、星空案内

		<p>関係業者立会い協力のもと、学ぶ機会を設けて訓練の充実を図った。加えて、8月に初めて南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）が発表されたことを踏まえ、地震防災マニュアル等の見直しや確認を行った。</p> <p>また、公益法人コンサルタント、社会保険労務士より適切な指導を受けている。</p> <p>経験ある専門職員や有資格者を配置し、学校や市・関係団体との連絡調整も十分に行っている。</p>		<p>人等の経験豊富な専門職員・有資格者を配置し、小中学校や天文科学研究機関等と連携した事業運営ができています。</p>
2. サービス内容や水準に関する評価	B	<p>投影機器・音響機器を更新したプラネタリムの活用を中心に、市民をはじめ多くの皆様に科学教育の機会を提供した。日本で初めてプラネタリウムにVRを取り入れた講演会を実施するなど、天文や科学への興味・関心を高める事業展開に努めた。</p> <p>来館者満足度調査では、「全体の満足度」が95%、団体利用アンケートにおいては「満足」との回答が学校団体で99%、一般団体利用が100%となり高評価を得た。</p> <p>有料入場者数は118,258人（昨年度比+16,446人）となり、プラネタリウム機器更新や特別展好調による入場者数の増加がみられた。団体利用も221件（昨年度比+23件）となり、昨年に引き続き増加した。</p>	B	<p>天文学教育の拠点施設として、魅力ある多くの事業を開催し、利用促進に努め、天文学の普及に寄与している。</p> <p>団体利用アンケートにおいての満足度はほぼ100%と高評価であり、非常に評価できる内容である。</p> <p>機器故障等のトラブルが発生した場合には、市に報告のうえ迅速かつ真摯に対応し、問題の長期化や複雑化を避けるよう努めている。</p>
3. 収支等の評価	B	<p>予算執行については公社会計規程に基づき執行している。会計システムを導入し、会計事務所の指導のもと適正に処理している。</p> <p>事業収支については、指定管理申請時の収支計画を超える電気料等の高騰により運営に大きな支障が発生したが、事業費及び管理費の支出抑制に徹し、</p>	B	<p>予算の執行については、独自に会計システムを導入しており、会計事務所の指導の下、適切に処理されている。</p> <p>昨今の社会情勢の煽りを受け、支出が増加したが、経費の節減に加え、不足分を事業収入で補うなど、指定管理者による努力が伺える。</p>

		<p>加えて、自主事業の科学工作、プラネタリウム特別事業の集客や、グッズ販売収入が好調に推移したこと等により不足した支出予算を補填し、不用額 500 千円を返還することができた。</p> <p>経営状況分析においては、自己資本比率・流動比率等も安定しており、それぞれの指標で営利を目的としない公益財団法人として普通以上から理想とする数字を維持している。</p>		
総合評価	B	<p>ディスカバリーパーク 焼津天文科学館の指定管理者として協定書等を遵守し、適正な管理に努めた。</p> <p>投影機器・音響機器を更新したプラネタリウムの活用を中心に、天文科学教育の拠点施設として、市民をはじめ多くの皆様に科学教育の機会を提供し、天文や科学への興味・関心を高める事業展開に努めた。</p> <p>有料入場者数は、プラネタリウム機器更新や特別展好調により増加し、団体利用も増加している。また、アンケート調査でも高評価を維持している。</p> <p>事業収支については、電気料等の高騰が施設運営に大きな支障を与えたが、支出抑制に徹し、自主事業の集客や収入が好調に推移したこと等により不足した支出予算を補填し、不用額 500 千円を返還することができた。</p> <p>経営状況分析指標も公益財団法人として理想とする数字を維持している。</p>	B	<p>学習の場として天文台、プラネタリウム、展示・体験室等の各施設を有効に活用した事業を実施し、天文科学教育の普及推進に尽力した。</p> <p>学校や天文科学研究機関との連携のもと、天文科学の普及を目的とした講座や講演会等を積極的に開催し、学習機会の提供に努めた。</p> <p>プラネタリウムについては、子どもたちの興味関心を引きやすいアニメ番組の特別投影のほか、VR 技術といった最新のデジタル技術を活用した講演会等を企画することで幅広い年齢層に対して話題性のある事業を展開し、天文・科学に親しむ機会を充実させ、集客率と満足度の向上に取り組んだ。</p> <p>全般的な運営について評価できる点が多く、一定の水準を満たす管理内容であると考える。</p>

【評価区分】

- 評価基準：A（優良）協定書、仕様書等を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。
- B（良好）協定書、仕様書等を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。
- C（課題含）協定書、仕様書等を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。
- D（要改善）協定書、仕様書等を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。